

深ボリ! 企業のチカラ

第35回 株式会社クリエート技研

今回は、株式会社クリエート技研を「深ボリ!」。代表取締役 大滝太志夫さんにお話を伺いました。

事業の概要

当社は、昭和55年10月(有)共栄製作所として、機械などに使用される部品の精密加工を



▲大滝代表取締役(前列中央)と社員の皆さん
素材に知恵と技術を吹き込み、本物のもの作りに挑戦し続けます。

中心に操業を開始しました。平成10年頃から積極的な設備投資を始め、生産拡大、事業拡大を重ね、平成18年5月の改名により、現在の「(株)クリエート技研」となりました。現在では、自動車部品や電子部品をメインに、お客さまの要望にお応えできるよう本物のもの作りを追求しています。

新しい時代の先取り



加工業界の厳しい競争環境へ対応が求められる中、当社では新しい取り組みとして、耐摩耗性に優れた「ダイヤモンドコンパックス(※)」という素材に着目しています。この素材を取り入れた部品加工用の製品は他の素材を利用した場合よりも、消耗が少なくあらゆる生産ラインで使用することで部品交換の頻度を減らし、コスト削減が期待できます。
※非常に硬く耐摩耗性に優れているが、その分加工難易度も上がる。

デジタル化と人材育成

当社では、受注した製品加工の納期や作業の進捗管理などをデジタル化し、事務作業の効率化および工程管理の強化を図っています。また、国家資格の取得に対する補助もあり、現在当社には機械加工技能士1級が5人、2級が2人在籍しています。確かな技術と知識を身に付け、今後の社会に貢献できるような人材育成にも力を入れています。

今後の抱負

これからも、お客さまを第一に、本物のもの作りを追求し続け、世界の加工・製造業界の動向を注視し、その変化にすぐ対応できるよう新しいことへのチャレンジ精神を忘れないに挑戦し続けます。



株式会社クリエート技研
水引町5430
電話(26)3210

起業者応援! このコーナーでは新規開業者情報をお届けしています。

今月の起業人

なかいつぼ 起業者: 田島 和良さん

田畑の草刈り、庭木の管理、山林の伐採のほか、家財整理などの身近な困り事の解決に貢献するため、昨年10月に開業しました。高齢の方やお仕事で時間が取れない方、市外にお住まいの方で、土地や家屋の管理にお悩みの方の大切な財産管理のお手伝いをいたします。アフターフォローも含め丁寧に対応しますので、お気軽にご連絡ください。

●所在地/湯島町 4169-3 ☎090(8288)8199
●営業時間/8:00~17:00 ●定休日/日曜日
●対象範囲/薩摩川内市、いちき串木野市、さつま町
●主要工具/チェーンソー、刈払機 など

人のとなりに

谷口 兼雄さん (78)



「人のとなりに」とは…
文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージした新コーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てることを目的としています。

東向田町で長きにわたり時計店「時宝堂」を営む谷口兼雄さん。昭和49年、国が初めて一級時計修理技能士を国家資格としたその第1号の認定証を持つ谷口さん。今回は、現代には珍しいそんなまちなちの時計の修理の素顔に迫ります。

壊してしまった父の時計

私の父は大工でしたので、将来は親の後を継いで大工になると思っていました。当時は、家業を継ぐのが世の流れでしたから。ある日、私は、父が若い時に満州から買って来たという時計を壊してしまいました。その頃の時計はとても貴重な物でしたし、外国製のその時計は、修理さえ出来ないものでした。だから、私は激怒した父に家から締め出され、その日は、泣きじゃくりながら祖父の家で夜を明かしました。

時計の修理工としての道

数日後、そのことを学校の先生に話すと、先生はそれから数カ月後に父に内緒で私を就職先の提案として、知り合いの時計店に連れて行ってくれました。店主と職人さんはとても親切な方で、そしてその高い技術に一目ぼれた私は、いつしか時計の修理工になりたいと思うようになりまして。ただ、私は、怖くてそのことを父に話すことができず、先生を通じてようやく話した時には不思議と父は、賛成も反対もありませんでした。今思えば、父は、家業を継いでほしいと思う反面、大切にしていた時計を壊してしまったことを心から後悔している私を心配してくれたのかもしれない。



▲店内に残る貴重な時計コレクションの中には、1964年の東京オリンピック記念の物も。

時計屋の今

あれから60年、今や時計は低価格で量産され、修理せずともいつでも気軽に買える物となり、さらには、時計を内蔵した携帯電話などの普及で、懐中時計の存在は息を潜め、腕時計は単にファッションの一部となっただけです。あの頃、市内に約14店舗あった時計店も今や3店舗のみ。私は、時計を見てると落ち着く気持ちが出て、ただ純粋に時計が好きで、今でも時計屋を続けています。それでも時には「形見の腕時計を自分だけのお守りとして使っているのを修理してほしい」などと預かることがあると物が溢れる時代に、一つの物を大事に使っていることをうれしく思います。

伝えたい思い

私は、父の形見の時計を作業場にぶら下げ、修理工になることを許してくれた父に、日々感謝しながら仕事をしています。もしかしたら私は、今でも壊してしまったり、あれから、もうどうなったかも分からないあの父の時計を心のどこかで、直したいと思っているのかも知れません。自分に残された時間で、愛着ある時計が元のように針が回るように、自分もしっかりとねじを巻き直して、時計という一つの物を大事に使うこと、未永く使うことを伝えていけたらと思います。